

平成31年10月入学

岩手大学大学院総合科学研究科
(修士課程)

総合文化学専攻

学 生 募 集 要 項

【外国人留学生入試】
(学生交流協定校対象)

日 程 表

出 願 受 付 期 間	平成30年12月 5日(水) ～ 12月 7日(金)
試 験 日	平成31年 1月 29日(火) ～ 1月 30日(水)
合 格 発 表	平成31年 2月 13日(水) 15時

岩 手 大 学

目 次

I	総合科学研究科総合文化学専攻のアドミッション・ポリシー	1
II	選抜方法等	
1	募集人員	2
2	出願資格	2
3	出願手続	2
4	選抜方法	3
5	試験日時・試験場	5
6	合格者の発表	6
7	入学手続等の概要	6
8	長期履修制度	6
9	入試問題の公表	6
10	受験者に対する試験成績の開示	6
III	個人情報の取り扱い	7
IV	障がい等を有する入学志願者との事前相談	7
V	電算処理カードの記入要領及び記入例	
1	記入要領	9
2	正しい書き方例	9
3	記入例	10
VI	岩手大学大学院総合科学研究科総合文化学専攻案内	
1	目的	11
2	構成	11
3	履修方法及び授業科目	11
4	課程修了の認定及び学位	11
5	取得可能な資格	11
6	授業科目一覧	12
7	教員の主な研究事項及び担当プログラム	14

I 総合科学研究科総合文化学専攻のアドミッション・ポリシー

総合科学研究科

本研究科は、自然科学系、人文科学系、社会科学系等の専門知識に基づきながら、文理の枠を超えた幅広い視野を持って新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に向けて地域社会や地球規模の課題解決に貢献する人材を養成することを目的としています。

なお、入学者選抜においては、各専攻等が、その学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針に基づいて定める入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）にしたがって入学者の選抜を行います。

総合文化学専攻

本専攻は、言語・文化・芸術・歴史に関する高度な専門知識とグローバルな視野を持ち、地域の文化・芸術の継承と普及、国際交流の推進、多文化共生社会の実現に向けて先導的な役割を果たし、東日本大震災からの復興と地域社会の活性化に寄与する人材を養成することを目的としています。

このような観点から、次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

- ・ 言語・文化・芸術・歴史・異文化理解に関する研究・学修に必要な専門的な基礎力を有する人
- ・ 多様な意見・価値観を理解し、自分の見解を論理的に展開して的確な判断ができる人
- ・ 自分の意見を相手に正確に伝える基本的な表現力とコミュニケーション能力を有する人
- ・ 地域の諸課題の解決と異文化間の平和的交流の促進に関心を有する人
- ・ 文化・芸術面から地域の活性化に取り組み、多様な価値観を持つ人々をコーディネートする意欲を有する人

II 選抜方法等

1 募集人員

専攻名	募集人員
総合文化学専攻	若干名

2 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の(1)～(3)のすべてに該当し、かつA又はBのいずれかに該当する者

- (1) 本学と学術交流協定（大学間交流協定又は部局間交流協定）を締結し、かつ人文社会科学部又は教育学部と「学生交流に関する覚書」を交換している外国の大学を平成31年9月までに卒業見込みの者
- (2) 出願時に本学人文社会科学部又は教育学部に特別聴講学生として在籍している者
- (3) 次の①、②のいずれかに該当する者
 - ① 外国において学校教育における16年の課程を平成31年9月までに修了見込みの者
 - ② 外国の大学（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を平成31年9月までに授与される見込みの者

A 入学試験日から遡って2年以内に公益財団法人日本国際教育支援協会又は独立行政法人国際交流基金が実施した日本語能力試験N1又はN2に合格した者

B 入学試験日から遡って2年以内に独立行政法人日本学生支援機構が実施した日本留学試験において、日本語の「読解」、「聴解・聴読解」の合計点及び「記述」の得点が、ともに平均点以上である者

※ 本学人文社会科学部又は教育学部と交流協定を締結している大学は、本学ホームページ

（日本語：http://iuic.iwate-u.ac.jp/15_kyoutei/index.html、

英語：http://iuic.iwate-u.ac.jp/english/15_kyoutei/index.html）を確認してください。

3 出願手続

(1) 出願方法

志願者は、(4)の出願書類等を取りそろえ、郵送又は持参により提出してください。

なお、郵送する場合は、必ず**速達書留**とし、封筒の表に「**総合科学研究科総合文化学専攻出願書類在中**」と朱書きしてください。

(2) 出願書類等提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

☎019-621-6064

(3) 出願受付期間

平成30年12月5日（水）から12月7日（金）まで【必着】

持参の場合、受付時間は9時から16時までです。

(4) 出願書類等

入学志願票及び履歴書	・ 所定の用紙に必要事項を記入してください。 ・ 学歴は、小学校入学時から記入してください。
電算処理カード	・ 9ページ以降の記入要領及び記入例をよく読み、記入してください。 ・ 電算処理されますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
写真票・受験票・入学検定料納入確認票	・ 写真票には、写真（縦4cm×横3cm）を貼ってください。 ・ 太線枠内に、志願者本人が記入してください。 ・ 検定料30,000円 （別途振込手数料がかかります。）を同封している所定の「払込取扱票」を使用し、 必ずゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で払い込んでください （ATMは利用しないでください。）。 ・ 払込後、受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を日附印欄の押印を確認のうえ、所定の欄に貼ってください。 ・ 検定料は、出願書類受理後はいかなる理由があっても返還しません。

成 績 証 明 書	・出身大学の学長（学部長）が作成し厳封したもの。 ・証明書自動発行機で発行されるものは厳封の必要はありません。
卒業（修了）見込証明書	・出身大学の学長（学部長）が作成したもの
研 究 計 画 書	・所定の用紙に必要事項を記入してください。
卒 業 論 文 等 の 概 要	・卒業論文等の概要（A4判、様式任意）を提出してください。卒業論文等を作成中（予定）の場合でも提出してください。 ・卒業論文等の概要を提出しない場合は、その理由を書いた理由書（A4判、様式任意）を提出してください。
住 民 票	・住民票（在留資格が明示されているもの）を提出してください。
日 本 語 能 力 試 験 N1 又は N2 の 証 明 書 も しくは 日 本 留 学 試 験 の 成 績 通 知 書 の 原 本	・入学試験日から遡って2年以内に実施された日本語能力試験N1又はN2の「認定結果及び成績に関する証明書」もしくは入学試験日から遡って2年以内に実施された日本留学試験の成績通知書の原本を提出してください※。原本は、受験票送付時に返送します。その際、証明書の大きさによっては折り曲げることがあります。証明書の折り曲げを避けたい方は、住所・氏名を記入し切手を貼った返信用封筒を同封してください。
受 験 票 送 付 用 封 筒	・所定の封筒に、受験票を確実に受け取ることのできる日本国内の住所（あて先）を明記し、362 円分の切手（速達料金）を貼ってください。
ラ ベ ル 票	・所定のラベル票用紙に、合格通知書等を確実に受け取ることのできる日本国内の住所、その他必要事項を記入してください。
そ の 他	・アート発信プログラムの音楽分野の志願者は、必要に応じ、楽譜のコピー、演奏曲目を記入した用紙（A4判、様式自由）等を提出してください。

注）外国語で書かれた証明書には必ず日本語訳を添付してください。

※ 日本語能力試験又は日本留学試験の証明書に疑義がある場合は、発行元に確認します。

(5) 出願書類等提出上の注意

- ① 出願書類等受理後は、いかなる理由があっても志望プログラム等の記載事項の変更を認めません。
- ② 出願書類等に不備のあるものは受理しませんので、記載事項に記入漏れ、誤記入等のないよう十分注意してください。
- ③ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願後、現住所等に変更があった場合は、速やかに連絡してください。
- ⑤ 出願書類等に虚偽があった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

4 選抜方法

(1) 専門科目

出願時に次のプログラムから志望するプログラムを一つ選択し、志望するプログラムの出題科目から1科目（研究計画書の研究テーマと最も関連が深いと思われるもの）を選択解答してください。
なお、（実技）と表示されている出題科目では、実技試験を課します。

表

プログラム	出 題 科 目
日 本 文 化 理 解 プ ロ グ ラ ム	日本語学，日本文学，日本思想史学，日本語教育学
グ ロー バ ル 文 化 発 信 プ ロ グ ラ ム	英米言語文化論，ドイツ言語文化論，フランス言語文化論，ロシア言語文化論，中国語学

プログラム	出 題 科 目
ア ー ト 発 信 プ ロ グ ラ ム	【音楽分野】注1) 音楽学, 作曲, 声楽 (実技), 器楽 (実技 (ピアノ)), 器楽 (実技 (管楽器)) 【美術分野】注2) 美術史・美術理論, 絵画 (実技), 彫塑 (実技), デザイン (実技), 工芸 (実技) 【書道分野】注3) 書道史・書道理論, 書道 (実技)
地域文化リノベーション プ ロ グ ラ ム	歴史地理学, アジア史学, 西洋史学, 日本考古学, 日本思想史学, 日本史学, 中国思想史学
文化多様性理解 プ ロ グ ラ ム	哲学・倫理学, マイノリティ論, 多文化社会制度論, 多文化表現 (表象・記号・コミュニケーション) 論, 多文化社会思想論, 西洋史学, 中国思想史学

注1) 音楽分野の出題科目に関する留意事項

- ① 音楽学
筆記試験を課します。
- ② 作曲
和声課題を課します。内容は以下のとおりです。
 - 1) 与えられたバス声部による4声体の和声の作成 (転調を含む)。
 - 2) 与えられたソプラノ声部による4声体の和声の作成 (転調を含む)。
 ※出願時に, 自作曲 (様式自由) の楽譜 (コピー可) を提出してください。また, エレクトロアコースティック・ミュージック (電子音響音楽) 等のように楽譜のない作品の場合は, 録音物 (コピー可) を提出してください。
- ③ 声楽 (実技), 器楽 (実技 (ピアノ)), 器楽 (実技 (管楽器))
実技試験を課します。実技試験の内容は以下のとおりです。

ア 声楽 (実技)
歌曲及びアリア (オペラ又はオラトリオ: 原調) を各1曲, 暗譜で演奏してください。演奏時間は, 合わせて10分程度とし, 伴奏者を同伴してください。

イ 器楽 (実技 (ピアノ))
任意のプログラムを暗譜で演奏してください。ただし, 基礎的な技術を示すことができる楽曲を含めてください。演奏時間は, 10～15分程度とします (反復は省略して演奏してください)。

ウ 器楽 (実技 (管楽器))
任意のプログラムを演奏してください。ただし, 基礎的な技術を示すことができる楽曲を含めてください。演奏時間は, 10～15分程度とします (反復は省略して演奏してください)。伴奏が必要な場合は, 伴奏者を同伴してください。暗譜の必要はありません。

 ※「声楽 (実技)」, 「器楽 (実技 (ピアノ))」, 「器楽 (実技 (管楽器))」とも演奏曲目を別紙 (A4判, 様式自由) に記入し, 出願時に提出してください。

注2) 美術分野の出題科目に関する留意事項

- ① 美術史・美術理論
筆記試験を課します。
- ② 絵画 (実技), 彫塑 (実技), デザイン (実技), 工芸 (実技)
実技試験を課します。試験に必要な用具は本学で用意します。

注3) 書道分野の出題科目に関する留意事項

- ① 書道史・書道理論
筆記試験を課します。
- ② 書道 (実技)
実技試験を課します。
漢詩文又は短歌1首による創作 (画仙紙半切)。書体は自由とし, 題材は当日指定します。
専門科目・口述試験当日は書道用具一式を持参してください。下敷き及び解答用紙は本学で用意します。字典等の使用は認めません。

(2) 口述試験

志望する専門分野（プログラム）に関して行います。

- ① アート発信プログラムの美術分野の実技試験を受験する者は、専門科目・口述試験当日に、以下のものを持参してください。
- ・ 平面・立体のいずれかの作品 2 点以内。ただし、作品のサイズは、本人が持参（搬入出）できる大きさとします。
 - ・ 提出作品以外の作品資料を、A4 判のファイルにまとめたもの。
- ② アート発信プログラムの書道（実技）を受験する者は、専門科目・口述試験当日に、以下のものを持参してください。
- ・ 近作 2 点（過去 2 年以内に制作した半切以上の大きさのもの）を仮表装したもの。また、本人の制作であることを証明する書類（指導教員の証明書又は展覧会の入選証、出品目録、掲載図録の写し等）を添付してください。

(3) 配点及び入学者の選抜方法

専門科目	口述試験・出願書類	合計
100	100	200

入学者の選抜は、専門科目と口述試験・出願書類（研究計画書等）審査の結果を総合して判定します。

5 試験日時・試験場

期 日	時 間	科 目 等	試 験 場
平成 31 年 1 月 29 日 (火)	10 : 00 ~ 12 : 00	専門科目	人文社会科学部 1 号館
平成 31 年 1 月 30 日 (水)	10 : 00 ~	口述試験	

注 1) 9 時 40 分までに試験場に集合してください。

注 2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。

試験開始後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、専門科目の試験時間の延長はしません。

ただし、アート発信プログラムの試験は、以下の試験日時及び試験場で行います。

アート発信プログラムの試験日時・試験場

期 日	時 間		科 目 等	試 験 場
平成 31 年 1 月 30 日 (水)	音楽分野	10:00~11:30	専門科目 (筆記試験)	教育学部芸術棟
		10:00~	専門科目 (実技試験)	
		専門科目終了後~ 注 2)	口述試験	
	美術分野	10:00~11:30	専門科目 (筆記試験)	
		10:00~13:00	専門科目 (実技試験)	
		14:00~	口述試験	
	書道分野	10:00~12:00	専門科目 (筆記試験)	教育学部 総合教育研究棟 (教育系)
		10:00~12:00	専門科目 (実技試験)	
		13:00~	口述試験	

注 1) 9 時 30 分までに受付場所（人文社会科学部 1 号館）に集合してください。

注 2) 音楽分野の口述試験の開始時刻は、試験当日、専門科目の開始前にお知らせします。

注 3) 試験開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。

試験開始後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、専門科目の試験時間の延長はしません。

6 合格者の発表

合格者には郵便により合格通知書を送付するとともに、合格者の受験番号を次により発表します。

日 時	平成 31 年 2 月 13 日（水） 15 時
発表方法	岩手大学事務局掲示場及び岩手大学ホームページによる発表 https://www.iwate-u.ac.jp/

※ 可否の問い合わせには、一切応じません。

7 入学手続等の概要

入学手続等の概要は次のとおりです。なお、詳細については、合格者に送付する入学手続関係書類で指示します。

(1) 大学納付金

区 分	金 額
入 学 料	282,000 円（予定額）
授業料（年額）	535,800 円（予定額）

注 1）納付金は予定額であり、入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。

注 2）国費（日本国政府）外国人留学生の入学料及び授業料は徴収しません。

(2) 大学納付金及び学生教育研究災害傷害保険料等の納付方法並びに入学料、授業料免除の申請方法及び必要書類については、合格者に別途通知します。

8 長期履修制度

本専攻では、職業を有しているなどの事情（注 1）によって、標準修業年限である 2 年を超えて、一定の期間（最長 4 年まで）にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを願い出た者には、審査の上許可することがあります。

この制度の適用学生の授業料総額は、標準修業年限（2 年）で修了する学生が納める授業料総額と同額となります。

なお、この制度の申請方法等は、合格者に別途通知します。

注 1）該当者：① 職業を有している者（1 日 8 時間週 3 日以上又は 1 日 4 時間週 4 日以上の勤務者で 6 月以上の継続雇用者）

② 家事従事者又は育児にあたっている者

③ 前各号に該当しないが本人の収入で生計を維持している者

④ その他、本専攻が適当と認める者

注 2）長期履修学生のための特別なカリキュラムは、原則として用意しません。

詳細については、岩手大学学務部学務企画課（☎019-621-6077）まで問い合わせてください。

9 入試問題の公表

過去 1 年の間に出题された本専攻に関連する入試問題を公表しています。

詳細は本学ホームページを確認してください。

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/disclosure/past.html>

10 受験者に対する試験成績の開示

本専攻では、平成 31 年 10 月入学試験の成績を次のとおり開示します。

① 開示の対象者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

（合格・不合格の選考結果を問わず、全受験者を対象とします。）

② 開示の期間：平成 32 年 5 月 1 日（金）から平成 32 年 6 月 30 日（火）まで

ただし、平日（祝日を除きます。）の 9 時から 16 時までに限ります。

③ 開示請求の手続：開示の期間中に本学（学務部入試課）に来学し、**本学の受験票**を提示してください。

④ 開示の内容：請求者が受験した試験科目の成績。

⑤ 開示の方法：閲覧によります。

Ⅲ 個人情報の取り扱い

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「岩手大学個人情報管理規則」に基づいて取り扱います。

1. 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
3. 上記1及び2の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。
ついては、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
4. 出願に当たって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収関係の業務を行うために利用します。

Ⅳ 障がい等を有する入学志願者との事前相談

本専攻に入学を志願する者で、障がいあるいは疾病等により受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、11月20日（火）までに、「事前相談について」（次ページ様式参照）を提出してください。

なお、必要により、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行う場合があります。

提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目 18-8

平成 年 月 日

岩手大学長 殿

氏 名
(志願者との関係)
住 所
電 話 - -

事前相談について

下記により事前に相談したいので、関係書類を添えて提出します。

記

1 志願者氏名等

ふりがな 氏 名	男・女	生年月日	西暦	年	月	日生
現 住 所	〒 - 電話 - -					
出身学校名	電話 - -					

2 志望研究科等名

研究科・専攻・ プログラム	研究科	専攻	プログラム
------------------	-----	----	-------

3 障がいの種類・程度

4 受験上特別な配慮を希望する事項・内容

5 修学上特別な配慮を希望する事項・内容

6 出身学校在学中にとられていた特別な配慮

7 日常生活の状況

8 添付書類

- (1) 健康診断書
- (2) その他

注1 出身学校関係者等が記入願います。

注2 6の「出身学校在学中にとられていた特別な配慮」については、詳細に記入願います。

注3 本用紙に書ききれない場合には、適宜別紙に記入しても構いません。

注4 健康診断書等の書類は、写して構いませんので必ず添付願います。

注5 ※欄には記入しないでください。

※ 大学記入欄

V 電算処理カードの記入要領及び記入例

1 記入要領

- (1) 電算処理カードは、次の要領で記入してください。
 - ① 「大学記入欄」には記入しないでください。
 - ② 5. 本人の状況欄の「進学」とは、大学等の卒業見込の者が該当します。
 - ③ 電算処理カードの3. 4. 5. 6. 7. 9. 10の欄の□の部分には、下記の「正しい書き方例」にならって丁寧に数字を記入してください。
 - ④ 漢字は正しく楷書で、記入してください。
- (2) 氏名は、住民票又は旅券（パスポート）に記載されているアルファベット氏名を記入してください。
- (3) 電算処理カードは、必ずHBのシャープペンシル（0.5mm しん）で濃く丁寧に記入してください。
- (4) 間違って記入した場合は、プラスチック消しゴムで丁寧に消してから書き直してください。
- (5) 電算処理カードは、絶対に折り曲げたり汚したりしないでください。

2 正しい書き方例

正しい書き方例

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

個々の注意点（○印の部分は、特に注意してください。）

0 輪を大きく円にしない	○, ○ 等は不可	5 縦線を突き出す	5, 5 等は不可
1 垂直にまっすぐに	/, 1 等は不可	6 線を長く輪はつなく	6, 6 等は不可
2 下の横線を真横に	2, 2 等は不可	7 カギをつけ脚は垂直に	>, 7 等は不可
3 中央を突き出す	3, 3 等は不可	8 交点をXに下の円を大きく	8, 8 等は不可
4 線は十分長く	4, 4 等は不可	9 輪はつなぎ縦線は長くのばす	9, 9 等は不可

3 記入例

電 算 処 理 カ ー ド (大 学 院 ・ 編 入 学 用)

HB のシャープペンシル (0.5 mmしん) で記入してください。

1. 受験番号 (大学記入欄)

888888

2. 氏 名 (丁寧に記入し、姓と名の間を1マスあけてください。)

(漢字)

Z H A N G J I N G B I N G

(カナ)

ジャソン ジンビン

3. 国籍・性別

日本・男… 1 日本・女… 2

外国・男… 3 外国・女… 4

コード
3

4. 入試区分 一般入試… 1, 推薦入試… 2, 社会人入試 (現職教員含む)… 3

外国人留学生入試… 4

コード
4

5. 本人の状況

進学… 1, 社会人… 2

現職教員 (教育委員会等派遣)… 4, 外国人… 5, その他… 6

コード
5

6. 学籍番号 (岩手大学在学学生 (研究生を除く) のみ現在の学籍番号を記入してください。研究生は7番以降を記入してください。)

88888888

6の学籍番号を記入した者は、以下の事項を記入する必要はありません。岩手大学研究生は記入してください。

7. 生年月日

西暦 1996 年 05 月 27 日生

8. 出身学校等名 (名称を略さずに記入してください。)

学校等名

東西大学

学部・
学科等名

人文学部

9. 学校種別 本学… 1, 他大学… 2, 短大… 3, 高専… 4

専修学校の専門課程… 5, 外国の学校… 6, その他… 7

コード
6

10. 卒業・修了 (見込) 年月

西暦 2019 年 07 月 卒業・修了見込… 1, 卒業・修了… 2
退学… 3

コード
1

11. 本籍地 (外国人留学生は国籍を記入してください。)

本籍地

中国

12. 国費等留学生 (大学記入欄)

コード
8

注1) 2, 8, 11 は漢字またはカナで記入してください。

注2) 3, 4, 5, 9, 10 はコード番号 (数字) を記入してください。

VI 岩手大学大学院総合科学研究科総合文化学専攻案内

1 目 的

岩手大学大学院総合科学研究科は、社会のグローバル化や多文化共生など地球規模の課題が深刻さを増している現代社会において、自然科学系、人文科学系、社会科学系等の専門知識に基づきながら、文理の枠を超えた幅広い視野を持って新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に向けて地域社会や地球規模の課題解決に貢献する人材を養成することを目的としています。

総合文化学専攻は本研究科にあって、言語・文化・芸術・歴史に関する専門知識を活かし、グローバルな視点から地域の文化・芸術の継承と普及・発信、国際交流の推進、多文化共生社会の実現に向けて先導的な役割を果たし、東日本大震災からの復興と地域社会の活性化に寄与する人材を養成します。

2 構 成

本専攻には、次の5つのプログラムが置かれています。

- ・ 日本文化理解プログラム

日本の言語・文化・歴史・思想・書道等について幅広く学修することに加え、外国人に日本語・日本文化を教える役割を担う日本語教員養成に関する科目も配置し、世界の中での日本・日本文化について考える多角的な視野を養うことで、日本語・日本文化を深く理解し、指導的な立場で世界へ発信できる人材を養成します。

- ・ グローバル文化発信プログラム

英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語について深く学修するとともに、複数の言語圏の文学・文化及び各言語で日本の文化を紹介・発信するための実践的な科目等を通して外国語の運用能力を高め、それをコミュニケーションのツールとして活用し、地域と世界をつなぐことができる人材を養成します。

- ・ アート発信プログラム

音楽・美術・書道等の各芸術分野についての専門知識と技術・実践力を修得するための科目に加え、「アート・マネジメント論」等の科目を通して、地域に根差した芸術を継承・創造・発信することができる人材を養成します。

- ・ 地域文化リノベーションプログラム

文化遺産の価値、その保存・活用や発信に関わる歴史や地理・言語・文化に関する科目を学修することに加え、文化財に関する基礎的事項や文化遺産の保存・活用の具体例を学ぶことで、日本と世界の歴史を深く理解し、地域の文化遺産の保存・発信と地域文化の活性化を担う人材を養成します。

- ・ 文化多様性理解プログラム

文化の多様な特質、及び文化内や異文化間で軋轢が生じる構造に関しての基本理論を学びます。その上で、多様な文化の諸相についての科目や、文化・集団間で生じる課題、多文化主義の政治や教育の実践例についての科目を学修することで、文化間のコミュニケーションや共生、文化の保存や発展などに関して積極的な活動や提言ができる人材を養成するプログラムです。

3 履修方法及び授業科目

学生は入学時に、志望したプログラムの担当教員と面談を行い、研究テーマと研究の進め方について確認し、主指導教員1名と副指導教員2名（うち1名は異分野の教員）を決定します。指導教員（複数）は研究の指導のほか履修する授業科目の選択についても指導を行います。

4 課程修了の認定及び学位

本専攻の所定の年限以上在学し、所定の必修科目、選択科目を合わせて34単位以上修得し、かつ修士論文の審査及び最終試験に合格した者には、修士（学術）の学位が授与されます。

5 取得可能な資格

教育職員免許状

既に下記の中学校教諭1種又は高等学校教諭1種免許状を有している者は、本専攻において所定の単位を修得すれば、当該教科に係る専修免許状（中学校、高等学校）を取得することができます。

ただし、大学院入学前の履修状況によっては2年間での取得が困難な場合もあります。

- ・ 中学校教諭専修免許状：国語、社会、音楽、美術、英語
- ・ 高等学校教諭専修免許状：国語、地理歴史、公民、音楽、美術、書道、英語

6 授業科目一覧

(平成30年 4 月 1 日現在)

科目区分		授 業 科 目 の 名 称				
研究科共通科目	総合科学科目	震災復興・地域創生	地域創生特論 地域防災特論 地域文化特論	技法知科目	アカデミック英語 アカデミック日本語 研究者倫理特論 学修支援論 学修支援演習	
		イノベーション	物質機能創成特論 システム創成特論 先端生命科学特論			
		グローバル	多文化共生特論 グローバルエネルギー特論 グローバル環境科学特論			
専攻共通科目		総合文化学基礎 岩手文化発信論		岩手文化理解論 文化マネジメント論		
プログラム科目（日本文化理解）	基礎科目	日本学特論 グローバル課題解決型研修 日本語学特論 日本文学特論 伝統文化研究特論 日本古代史特論 日本中世史特論 日本語教授法特論 日本語教育学特論 日本思想史特論 日本近世思想史特論 日本語社会言語学特論 日本語地域言語マネジメント特論 日本語史特論 日本語文法論特論 日本語語彙論特論 日中比較文化学特論 アート実践・応用特論（中国書法） アート実践・応用特論（日本書法）			展開科目	日本語学特別演習 日本文学特別演習 伝統文化研究特別演習 日本語教授法特別演習 日本語教育学特別演習 日本語社会言語学特別演習 日本語地域言語マネジメント特別演習 日本語文法論特別演習 日本語史特別演習 日本語語彙論特別演習 日本思想史特別演習
		日本文化理解特別研究				
プログラム科目（グローバル文化発信）	基礎科目	グローバル文化発信 グローバル課題解決型研修 グローバル英語発信 応用英語学特論 英語学特論（認知言語学） 英語学特論（言語と記号） 英語習得論特論 ヨーロッパ圏語学特論 中国語学特論 アメリカ文化特論 英文学特論 ヨーロッパ圏文学特論 ヨーロッパ圏文化特論 異文化コミュニケーション論特論 アジア近現代史特論 西洋近現代史特論			展開科目	応用英語学特別演習 英語学特別演習（社会言語学） 英語学特別演習（言語障害学） 英語学特別演習（言語の歴史） 英語学特別演習（生成言語学） 英語習得論特別演習 ヨーロッパ圏語学特別演習 ヨーロッパ圏語学研究特別演習 中国語学特別演習 中国語学研究特別演習 アメリカ文化特別演習 アメリカ文化研究特別演習 英文学特別演習 英文学研究特別演習 ヨーロッパ圏文学特別演習 ヨーロッパ圏文学研究特別演習 ヨーロッパ圏文化特別演習 ヨーロッパ圏文化研究特別演習 英語コミュニケーション実践 英語プレゼンテーション実践
		グローバル文化発信特別研究				

科目区分		授 業 科 目 の 名 称	
プログラム科目（アート発信）	基礎科目	アート・マネジメント論 グローバル課題解決型研修 アート実践・応用特論（管楽器） アート実践・応用特論（ピアノ） アート実践・応用特論（作曲） アート実践・応用特論（声楽） アート理論・応用特論（音楽学・美学藝術学） アート実践・応用特論（工芸） アート理論・応用特論（美術史） アート実践・応用特論（デザイン） アート実践・応用特論（彫塑） アート実践・応用特論（絵画） アート実践・応用特論（中国書法） アート実践・応用特論（日本書法） 共生倫理学特論 西洋近現代史特論 多文化表象論特論	展開科目 アート実践・応用特別演習（管楽器） アート実践・応用特別演習（ピアノ） アート実践・応用特別演習（作曲） アート実践・応用特別演習（声楽） アート理論・応用特別演習（音楽学・美学藝術学） アート実践・応用特別演習（工芸） アート理論・応用特別演習（美術史） アート実践・応用特別演習（デザイン） アート実践・応用特別演習（彫塑） アート実践・応用特別演習（絵画） アート実践・応用特別演習（中国書法） アート実践・応用特別演習（日本書法）
	アート発信特別研究		
プログラム科目（地域文化リノベーション）	基礎科目	文化財論 グローバル課題解決型研修 歴史地理学特論 アジア近現代史特論 西洋近現代史特論 考古学特論 日本思想史特論 日本近世思想史特論 日本古代史特論 東北史学特論 西洋古代史特論 中国思想史学特論 日中比較文化学特論 日本中世史特論 日本語地域言語マネジメント特論 伝統文化研究特論	展開科目 歴史地理学特別演習 西洋近現代史特別演習 アジア近現代史特別演習 考古学特別演習 日本思想史特別演習 日本古代史特別演習 東北史学特別演習 西洋古代史特別演習 中国思想史学特別演習 日中比較文化学特別演習 日本中世史特別演習 日本語地域言語マネジメント特別演習 伝統文化研究特別演習
	地域文化リノベーション特別研究		
プログラム科目（文化多様性理解）	基礎科目	文化多様性理解 グローバル課題解決型研修 人間学特論 フェミニズム・男性性研究特論 多文化社会制度特論 文化記号論特論 異文化コミュニケーション論特論 多文化表象論特論 エスニック・マイノリティ論特論 多文化社会思想論特論 共生倫理学特論 西洋近現代史特論 日中比較文化学特論	展開科目 人間学特別演習 フェミニスト・スタディーズ特別演習 男性性研究特別演習 多文化社会制度特別演習（国内編） 多文化社会制度特別演習（外国編） 文化記号論特別演習 異文化コミュニケーション論特別演習 多文化表象論特別演習 エスニック・マイノリティ論特別演習 多文化社会思想論特別演習 共生倫理学特別演習 西洋近現代史特別演習 日中比較文化学特別演習
	文化多様性理解特別研究		

7 教員の主な研究事項及び担当プログラム

(平成30年4月1日現在)

職 位	学 位	氏 名	主 な 研 究 事 項	担当プログラム
教 授	文 学 修 士	菊 地 悟	近代語彙史研究, 近代訳語研究, 近代ローマ字史研究	日本文化理解プログラム
教 授	文 学 修 士	家 井 美千子	平安時代仮名散文の研究, 和歌文学の研究	日本文化理解プログラム
教 授	地域研究修士	松 岡 洋 子	日本語教育学, 移民の言語政策および多文化社会のコミュニケーション施策研究	日本文化理解プログラム
教 授	博士(文学)	中 村 安 宏	日本の儒学思想史, 近世における政治と思想・文化との関係	日本文化理解プログラム 地域文化リノベーション プ ロ グ ラ ム
教 授	文 学 修 士	☆大 野 眞 男	日本語の地域的・社会的変異を対象とした社会言語学的研究, 近代及び現代の日本語に関する言語政策・言語計画研究, 日本語教育への応用を視野に入れた外国語と日本語の対照研究	日本文化理解プログラム
准教授	修士(文学)	小 島 聡 子	日本語(特に中古・中世の文法)の変遷に関する研究	日本文化理解プログラム
准教授	修 士 (歴史音楽学)	スマイリ, ジム	大学の英語教育の理論と実践に関する研究, 英語の教材開発研究	グローバル文化発信 プ ロ グ ラ ム
教 授	文 学 修 士	犬 塚 博 彦	英語音声学, 英語音韻論, 英語音声の効果的な発音指導法	グローバル文化発信 プ ロ グ ラ ム
准教授	文 学 修 士	橋 本 学	生成文法形態論・統語論, 認知言語学, 言語習得理論	グローバル文化発信 プ ロ グ ラ ム
教 授	文 学 修 士	齋 藤 伸 治	日英対照研究, 言語思想史	グローバル文化発信 プ ロ グ ラ ム
教 授	教育学修士	松 林 城 弘	第2言語習得論, 英語教育論, 機能的統語論	グローバル文化発信 プ ロ グ ラ ム
教 授	文 学 修 士	☆齋 藤 博 次	ソール・ベロー研究, アメリカ60年代の「ニュー・ライターズ」の研究, 80年代以降のアメリカの文化戦争の研究	グローバル文化発信 プ ロ グ ラ ム
教 授	文 学 修 士	境 野 直 樹	17-18世紀英文学, シェイクスピア研究, 文芸批評理論を援用したリーディング学習について	グローバル文化発信 プ ロ グ ラ ム
准教授	博士(学術)	高 橋 愛	ハーマン・メルヴィルを中心とした19世紀アメリカ文学	グローバル文化発信 プ ロ グ ラ ム
教 授	Doktor der Philosophie	大 友 展 也	インタフェレンツ現象の総合的な研究, 「インタフェレンツ言語学」の確立, ドイツにおける新聞発達史の研究	グローバル文化発信 プ ロ グ ラ ム
教 授	Doktor der Philosophie	シュヴァムボルン, フランク	20世紀ドイツ文学とくにローベルト・ヴァルザー及びグレゴール・フォン・レッツナーの研究	グローバル文化発信 プ ロ グ ラ ム
准教授	博士(文学)	川 村 和 宏	ドイツ文学, 児童文学と童話, 外国語学習ソフトウェア開発	グローバル文化発信 プ ロ グ ラ ム
教 授	文 学 修 士	横 井 雅 明	現代フランス語のテンス・アスペクト, ギョーム派言語学	グローバル文化発信 プ ロ グ ラ ム
准教授	Doctorat en Lettres Modernes	中 里 まき子	20世紀フランス小説	グローバル文化発信 プ ロ グ ラ ム
准教授	DEA	グラ, アレクサンドル	フランス語教授法, 比較文化	グローバル文化発信 プ ロ グ ラ ム
准教授	博士(学術)	堀 口 大 樹	ロシア語学, ラトビア語学, 語形成論	グローバル文化発信 プ ロ グ ラ ム
准教授	博士(文学)	鋤 田 智 彦	中国語学, 対音資料を用いた中国近世語音史研究	グローバル文化発信 プ ロ グ ラ ム
教 授	音 楽 修 士	牛 渡 克 之	ユーフォニアム演奏法の研究, 吹奏楽指導法, 指揮法の研究	アート発信プログラム
准教授	修士(音楽)	大 場 陽 子	作曲, 編曲, 地域における音楽活動の研究	アート発信プログラム
教 授	文 学 修 士	木 村 直 弘	音楽学・美学(西洋音楽史, 音楽思想史, 音の文化史, サウンドスケープ)	アート発信プログラム

職 位	学 位	氏 名	主 な 研 究 事 項	担当プログラム
教 授	芸 術 学 修 士 (工 芸)	阿 部 裕 之	日本の伝統的込型鑄造法の研究, 日本の伝統的惣型鑄造法の研究, 日本の伝統的蝸型鑄造法の研究, ヨーロッパ式石膏鑄造の研究	アート発信プログラム
准教授	修 士 (文 学)	金 沢 文 緒	イタリア美術史, 風景画・景観画研究, 18世紀における画家のヨーロッパ内移動についての研究	アート発信プログラム
教 授	博 士 (芸 術 学)	本 村 健 太	映像メディア表現, グラフィックデザイン, バウハウスや視覚文化に関する研究	アート発信プログラム
教 授	教 育 学 士	※藁 谷 収	石彫制作, 都市空間と彫刻	アート発信プログラム
准教授	修 士 (デザイン学)	溝 口 昭 彦	絵画表現を起点とした複合媒体表現	アート発信プログラム
教 授	教 育 学 士	★玉 澤 友 基	漢字書作品の研究, 太田孝太郎の業績とその背景, 原敬の書	アート発信プログラム
教 授	博 士 (史 学)	佐 藤 由紀男	土器の用途から弥生時代の生活様式の変化を明らかにする研究, 弥生系磨製石斧の比重からその流通構造を明らかにする研究, 東北地方への弥生時代文化の波及に関する研究	地域文化リノベーションプログラム
教 授	博 士 (理 学)	☆遠 藤 匡 俊	近世アイヌの文化と社会, 歴史・文化地理学, 狩猟採集民の文化と社会	地域文化リノベーションプログラム
准教授	博 士 (学 術)	麻 田 雅 文	ロシア史 (ロシアと中国東北 (満州) の関係史)	地域文化リノベーションプログラム
准教授	博 士 (文 学)	梶 さやか	近代東欧史, ナショナリズム, 歴史認識	地域文化リノベーションプログラム 文化多様性理解プログラム
教 授	博 士 (文 学)	樋 口 知 志	日本古代社会経済史の研究, 古代出土文字資料の研究, 東北辺境古代・中世史の研究	地域文化リノベーションプログラム
准教授	博 士 (文 学)	安 井 もゆる	ローマ政治・社会史の研究, 西洋古代の歴史記述に関する研究, 高校世界史教育の教育法	地域文化リノベーションプログラム
教 授	文 学 修 士	藪 敏 裕	中国思想史, 経学史	地域文化リノベーションプログラム 文化多様性理解プログラム
教 授	文 学 修 士	★菅 野 文 夫	日本中世文書論・土地証文論, 東北地方の中世政治史	地域文化リノベーションプログラム
准教授	博 士 (文 学)	音喜多 信 博	現代ドイツ語圏・フランス語圏の哲学的人間学の研究, 現象学研究, 生命倫理学研究	文化多様性理解プログラム
准教授	博 士 (学 術)	海 妻 径 子	近代日本における男性・父性論の歴史的展開, 男性性研究の理論と方法, ジェンダーをめぐる現代日本の諸課題	文化多様性理解プログラム
准教授	博 士 (法 学)	菊 地 洋	民族的マイノリティの権利保障に関する研究, 多文化主義における権利論, 震災からの復興にむけてー憲法の基本的視座ー	文化多様性理解プログラム
教 授	文 学 修 士	後 藤 尚 人	文学テキストの読解理論研究, 1960年代研究, メディア記号論研究	文化多様性理解プログラム
准教授	Doctor of Philosophy (Education)	小 林 葉 子	異文化理解, 第二言語コミュニケーション学, 応用言語学	文化多様性理解プログラム
教 授	文 学 修 士	山 本 昭 彦	ボードレールと19世紀の芸術批評, 永井荷風, 宮沢賢治, ユートピアの表象	文化多様性理解プログラム
准教授	博 士 (社会学)	梁 仁 實	日本の映像メディアにおける在日朝鮮人の表象, 日韓の文化交流史に関する研究	文化多様性理解プログラム
教 授	文 学 修 士	※池 田 成 一	ヘーゲルの思想形成過程の研究, ヘーゲルに影響を与えた18世紀英仏思想研究, ハーバーマスを中心とした現代欧米思想の研究, 近代岩手の思想史	文化多様性理解プログラム
教 授	文 学 修 士	宇佐美 公 生	カント研究, 近現代西洋倫理思想史, 正義論研究	文化多様性理解プログラム

※印の教員は、平成31年3月定年により退職となりますので、指導教員とすることはできません。

☆印の教員は、平成32年3月定年により退職となります。

★印の教員は、平成33年3月定年により退職となります。

試験場への案内



盛岡駅東口バスのりば（11番のりば）から岩手県交通バスの駅上田線「松園バスターミナル行き」に乗車し「岩手大学前」で下車，又は駅桜台団地線「桜台団地行き」に乗車し「岩手大学前」で下車してください。

注1）盛岡駅から約2 km，徒歩約25分です。

注2）タクシー利用の場合

盛岡駅「タクシーのりば」から約10分で，料金は1,000円程度です。

注3）盛岡駅行き（帰り）のバス停については，上記の案内図を参照してください。

盛岡駅東口バスのりば案内図

